

防災教育の深化

～「自分の命は自分で守る力」を育成します～

ICTの
効果的な
活用

地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育を進めています

◆呉市学校防災週間（7月6日を含む1週間）



防災朝会

ひろしま防災出前講座

救助活動体験

防災フィールドワーク

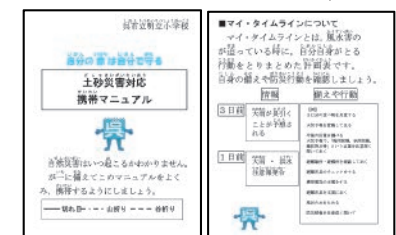
◆「呉市防災教育のための手引き」を活用した実践

（義務教育9年間を見直し、土砂災害・洪水・高潮への対応に重点を置いたカリキュラム）



◆土砂災害対応携帯マニュアル

（出水期前に全ての子どもたちへ配付、携帯）



◆家庭・地域を巻き込んだ防災教育



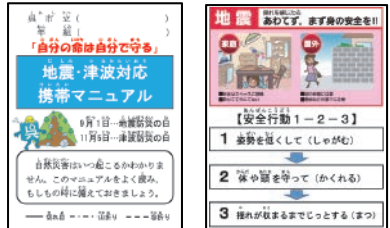
大雨を想定した引き渡し訓練 保幼小中地域合同避難訓練

【理科】「流れる水のはたらき」の学習で、増水によって起こる災害について知り、自分の命を守るための行動について考える。

子どもが家庭に持ち帰り、保護者と話し合いながら自分の避難場所などについて確認します。

◆地震・津波対応携帯マニュアル

（一斉地震防災訓練までに全ての子どもたちへ配付、携帯）



学校・家庭・地域が連携し、ともに防災力を高めます。

授業改善の推進

～子どもの主体的な学びを実現します～

ICTの
効果的な
活用

目指す子どもの姿

一人一人が問いをもち、かかわりを通して学びを深めている

◆子どもの問いが生きる「考える授業づくり」

子どもの「なぜだろう」「やってみよう」を大切に、かかわりを通して、深い学びを実現できるよう、ファシリテートします。



どういことかな？
どうして？
どうすればいいの？

〇〇〇について、
考えてみたい！

自分に合った学習
方法だと、わかりや
すいな。

友達と話し合ったら、
おもしろい発見があったよ。

こうすればいいんだ。
よし、次はこうしてみよう。

特別支援教育の視点を 取り入れた工夫



時間の構造化 場の構造化 安全・安心な風土

生徒指導の実践上 の視点

一人一人が分かる・できる支
援の工夫、どんな発言も受け
入れられる安全・安心な風土
の醸成により、子どもの主体
的な学びを支えます。

◆小中中で創る「未来の学び」実践事業



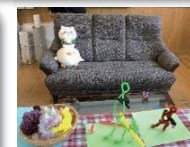
小中一貫教育を基盤とし、20年後、30年後に役
立つ資質・能力の育成に
向けて、中学校区で研究
を進めます。

個を大切にした支援の充実

～一人一人の実態や思いに寄り添います～

ICTの
効果的な
活用

居心地がよく落ち着く
居場所を作ります



(SSRの様子)

SSR（スペシャルサポートルーム）

不登校等児童生徒に社会的に自立する力を育みます。児童生徒を支援する伴走者として、専任の担当者として、校内SSR支援員がおり、自分に合ったペースで学習・生活できます。



(SSRの紹介)

呉市教育支援センター（つばきルーム）

中央ルーム、延崎ルーム、安浦ルームがあります。児童生徒の興味、関心に応じた活動や造形、スポーツ等の集団活動などに取り組んでいます。3ルーム 合同での校外学習も行っています。



(つばきルームの紹介)

児童生徒を支援します
個別の支援が必要な



校内SSR支援員 8名

小学校4校、中学校4校に、それぞれ1名ずつ支援員を派遣しています。



特別支援学級指導員 56名

特別支援学級において、児童生徒の実態に応じた支援を行います。



学校教育指導補助員 60名

通常の学級において、児童生徒の実態に応じた支援を行います。



スクールカウンセラー 4名

心の専門家です。1名は教育委員会事務局に常駐しています。広島県は全校に配置しています。



スクールソーシャルワーカー 4名

社会福祉の専門家です。広島県は4中学校区に派遣しています。



特別支援教育相談員 2名

教育委員会事務局に常駐し、学校訪問等により指導・助言等を行います。



呉市教育支援センター支援員 6名

3つのルームに、2名ずつ支援員を配置しています。



いいばしょサポーター 随時

必要に応じて、大学生や教職経験者（有償ボランティア）を学校に派遣しています。



生徒指導員 11名

生徒指導の援助をしたり、SSRでの支援を行ったりします。

そのほか、次のような取組を通して、適切な支援につなげます。
・ 専門家による巡回相談
・ 校内における支援会議
・ 関係機関との連携 等



(相談窓口の紹介)



(いいばしょいろいろフリーフレット)

相談された方に寄り添い
解決へ向けて支援します

呉市が進める小中一貫教育

呉市では平成12年度、全国に先駆けて小中一貫教育の研究をスタートさせました。

「中1ギャップの解消」と「自尊感情の向上」をねらいとし、平成19年度からは全ての中学校区で小中一貫教育を実施し、その成果を全国に発信してきました。

令和7年度には、この呉の地において、第20回小中一貫教育全国サミットを開催しました。大会のテーマを「過去 現在 そしてこれから～小中一貫教育の新たな意義を問う～」とし、小中一貫教育の原点に立ち返り、これまでの取組の成果と課題を整理するとともに、これからの小中一貫教育について考える意義ある大会となりました。これからの、社会が急激に変化し、多様性の尊重が大切な今だからこそ、一人一人が自己発揮しながら成長できる子ども基点で一年一年をつなぎ、柔軟に調整・変革しながら、これからの社会を生きる子どもたちに必要な資質・能力の育成を目指して、取組を進めていきます。そのためにも、小学校と中学校が「子ども観」を共有して、小中一貫教育に取り組みます。



小中一貫教育推進
コーディネーター研修会

異学年交流

乗り入れ授業

小中合同研修会

学校における働き方改革の推進

【目指す姿】
全ての子どもたちへのよりよい教育の実現に向け、心身ともに充実し、「働きやすさ」と「働きがい」を両立しながら、主体的に学び続け、専門性を最大限に発揮する教職員

- ◎ 目標（令和11年度までに）
- ・1箇月時間外在等時間が45時間以下の割合 100%
 - ・1年間時間外在等時間が360時間以下の割合 100%
 - ・「心理的安全性が確保されている」と感じている割合 100%
 - ・「日々の業務の中で充実感を得られている」と感じている割合 100%

- ◆ 取組の重点
- 呉市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画を位置付けた「呉市立学校における働き方改革取組方針」に基づく取組の推進
 - ・ 教職員の勤務状況等の把握
 - ・ 教職員の担当業務の見直しや適正化
 - ・ 教職員の健康及び福祉の確保

児童生徒一人一人の尊厳を大切に する教職員

- ・ 傾聴し、寄り添う
- ・ ささいな変化に気付く
- ・ いじめを見逃さない、許さない

教職員による不祥事の根絶

【目指す姿】
不祥事を「起こさない・起こさせない・許さない」教職員

- ◎ 目標
- ・ 教職員による不祥事0（ゼロ）

- ◆ 取組の重点
- ・ 服務規律の厳正確保に係る通知の確実な周知・実施
 - ・ 教職員が主体的に参画し、自らの問題として考え、認識を深めることのできる服務研修の計画的な実施
 - ・ 不祥事の未然防止に向けた組織体制の構築と環境整備
 - ・ 教職員のメンタルヘルス不調の未然防止や心理的安全性の確保に向けた相談体制の整備